

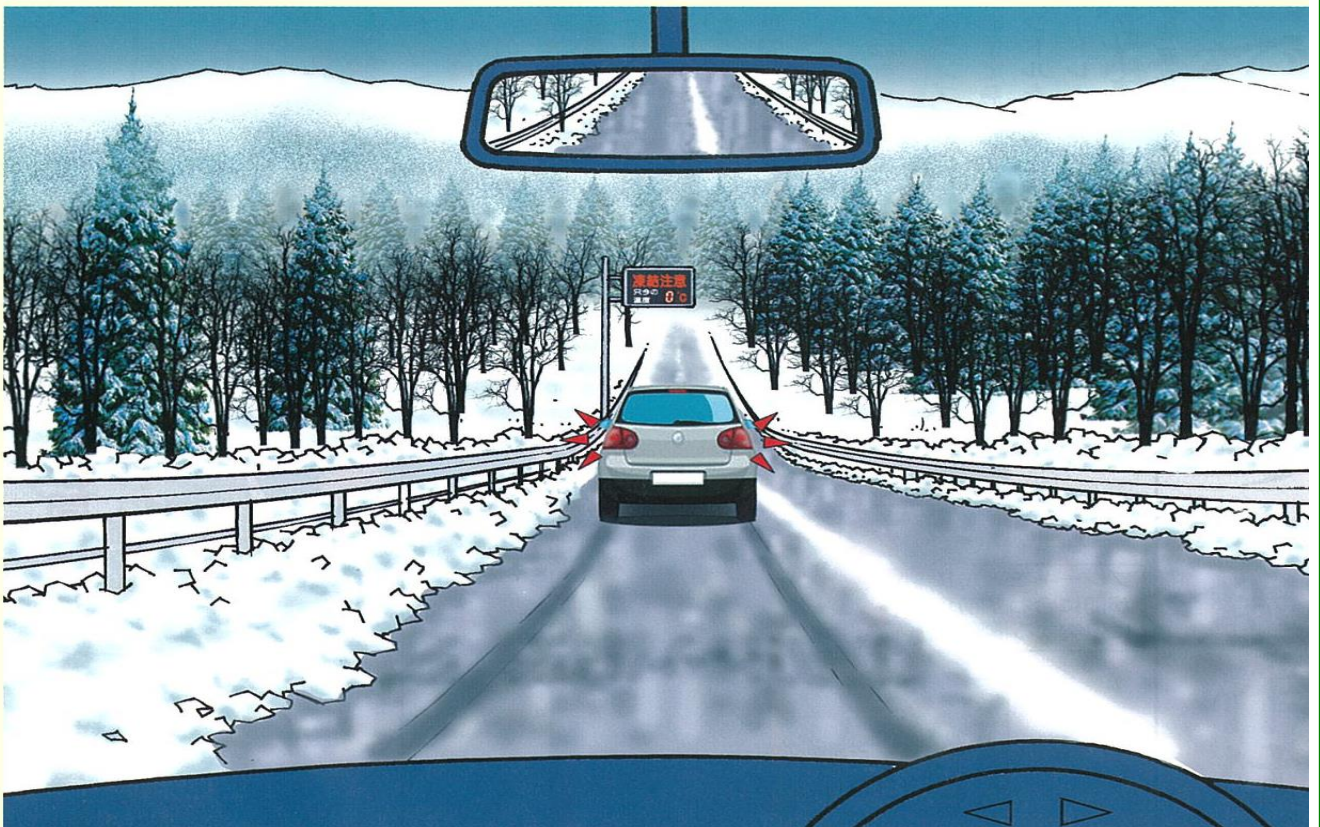
今月のKYT（危険予知トレーニング）

「凍結注意」の電光掲示板のある下り坂を前車に追従していたところ、
前車のブレーキランプが点灯しました。
自車はこのまま前車に追従していきたいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q KIKEN YOCHI TEST あなたはどのような運転をしますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____



知 予 危 険
ト イ ポ

- ① ブレーキを踏んだが間に合わず、前車に追突する。
- ② スリップしてガードレールに衝突する。

安易に前車に接近しない

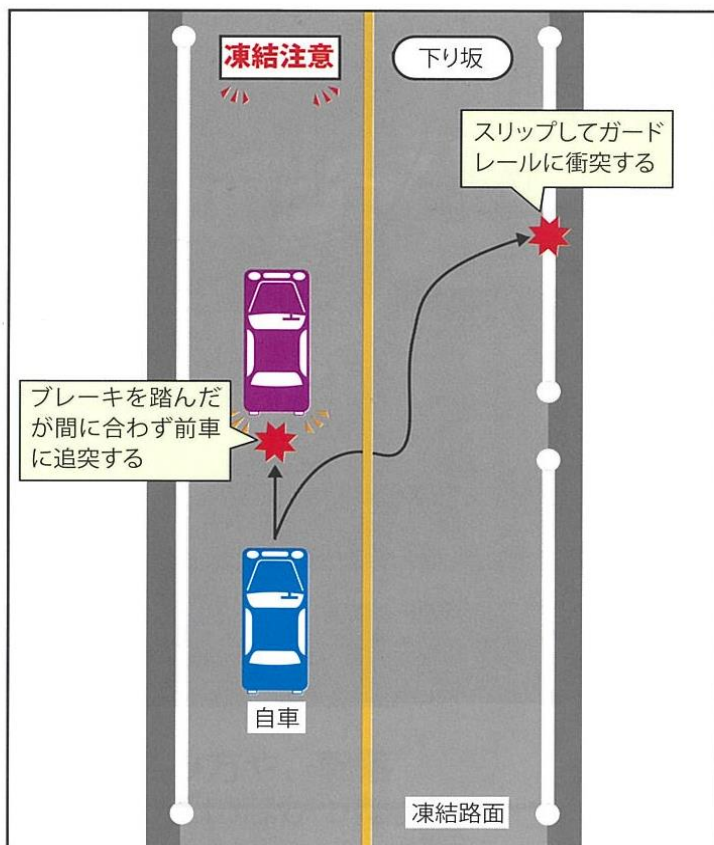
下り坂では、知らず知らずのうちに速度があがることにくわえ、路面が凍結している場合は、予想以上に停止距離がのびることが考えられます。そのため、安易に追従していると、前車の減速に対応できず追突するおそれがあります。

凍結路面の下り坂を走行するとき、スピードを控えることはもちろん、十分な車間距離をとりましょう。

「急」のつく操作は厳禁

前車のブレーキランプが点灯したのを見て、あわてて急ブレーキを踏んだり、ハンドルを切るとスリップして、ガードレールなどに衝突する危険があります。

凍結路では「急ブレーキ」「急ハンドル」などの「急」な操作は厳禁です。



凍結路では細心の注意を払って慎重に運転すること

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。